

第2学年

2学年主任

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

協働

～生徒も職員も保護者も笑顔～

2 学年目標

共生

～認め合い・自律～

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none">基礎学力の定着。学習規律の定着。話し合い、教え合いの活性化。個別最適な学習の実施。	<ul style="list-style-type: none">わからないと言える環境づくり。個別最適な指導を念頭に、教科担任と学年職員との情報共有、連携を行い、個に応じたプリントや学習内容の準備、また学習支援や通級等と連携を行う。主体的対話的で深い学びになるよう、班や少人数での話し合い・教え合い活動を中心に取り組む。学習計画の立て方、学習方法の指導を学年体制で行っていく。学習意欲の向上を目指して授業の工夫を行い、生徒自らが課題を見つけ、解決する活動を意図的に準備する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none">自他を尊重する生徒の育成。社会性の向上。集団の一員として責任感をもつ。自律した心を養う。誠実な心を養う。	<ul style="list-style-type: none">朝の会や帰りの会、清掃活動や係活動など、日常の学校生活の中で人としてのあり方、生き方、思いやりの心、礼儀を学べる機会を多くつくる。学年で授業案を練り、検討し、授業の質の向上を図る。また、誰が授業をしてもよい状況にする。学校行事を普段の学校生活の延長線上と捉え、行事をきっかけに集団の道徳性の向上や関係性の向上を図り、日常の生活につなげる活動とする。計画的に人権学習に取り組む。
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none">自分自身の言動が他者に及ぼす影響を理解する社会の一員としての自覚とともに、社会や大人を客観的にとらえる将来の夢の実現に向けて、現実の問題と関連付ける	<ul style="list-style-type: none">林間学校の活動を通して、浦安市にない職業や自然に触れ、価値観を広げる。社会性とはどういう要素かを実際に話を聞いたり、社会人と話をする中で学ぶ。働くこととはどういうことか、働くために必要な力は何かを、体験や調査により学ぶ。自分について考え、今後の人生を具体的にイメージし、その実現に向けて課題を解決する。

<p>生活指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の向上。 ・善悪の判断、最適な行動の選択。 ・第三者からの評価と自己評価との誤差の減少。 ・自律性の向上。 ・誠実な心の成長。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有。 ・規律ある生活を生徒同士で作りに上げられるよう支援・指導を行う。 ・時と場に応じた態度や言動の必要性を理解させ、身につけられるようにする。 ・先入観をもたず、お互いフラットな心で生徒の話を親身に聞き、寄り添う。 ・自分たちで決め、自分たちで活動し、自分たちで振り返ることのサイクルを築き、日常生活を自治活動の場へと促す。 ・積極的な生徒指導を心がけ、先手をとるために、学年での情報共有を密にする。 ・家庭との連携を密にするために、普段の頑張りや良さをよく見る。 ・2人態勢で指導にあたる。
<p>特別活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発見、解決能力の向上。 ・集団の振り返り(学期に1回)やアンケートの実施による課題発見、解決策の模索、実践。 ・自他を尊重する生徒の育成。 ・社会性の向上。 ・集団の一員として責任感をもつ。 ・自律した心を養う。 ・自己肯定感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◎リーダー指導、フォロワー指導の充実。 <ul style="list-style-type: none"> ・係活動を率先して行い、生徒が主体的に活動できるよう指導助言を行う。 ・生徒会・専門委員会・学級の連携を図り、委員会活動に係の活動がリンクするような取り組みにし、リーダーとフォロワーの育成を図る。リーダーは専門委員、活動は班の係の生徒、フォロワーはその他の生徒。 ・定期的な(2週に1回)班長会の実施、課題発見・解決に向けた話し合いと実践、振り返りを行う。 ・班長会実施後、必要に応じて学級会の実施。 ◎小集団活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・全体に話し合いの仕方や大切なことを理解させ、実践していく。 ・一日の生活の中に目標を持たせるとともに、具体的に取り組むべき事項をはっきりさせる。 ・エンカウンター等の活動を実践し、ルールを守ることや協働的活動、楽しむことを通して関係づくりの強化を図る。 〈リーダー指導、フォロワー指導を充実させる〉 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして、身につけるべき力を具体的に示して日々実践させ、評価する ・学校行事や学級会などで、必要に応じて事前に打ち合わせとリハーサルを実施し、自分たちで会を運営できるようにしていく。
<p>保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の協力体制の構築。 ・学年の教育活動への理解の向上。 ・家庭の困り感の聞き取りや気軽に相談される学校の体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有。 ・家庭との連携を密にするために、普段の頑張りや良さを連絡して伝えるようにする。 ・定期的なお便りで学年の活動や生徒の様子を伝える。 ・必要に応じて面談を組み、特別支援コーディネーターやカウンセラー、支援室と連携して対応に当たる。